

## 神戸市役所本庁舎新2号館および周辺公共空間のあり方を考えるワークショップ 実施報告

- (1) 日 時 令和元年12月14日(土) 10:00~18:00、15日(日) 10:00~19:00  
(2) 場 所 神戸市役所2号館、市庁舎周辺  
(3) 参加者 神戸のまちづくりに関心があり、建築・造園・土木・都市計画・デザイン等を専攻する大学(院)・専門学校生(23名)

### (4) 体 制

ファシリテーター・チューター

- ・大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授 武田 重昭 氏
- ・建築家 ALTEMY 代表 津川 恵理 氏
- ・京都大学 工学部非常勤講師 八木 弘毅 氏
- ・神戸芸術工科大学 環境デザイン学科 助教 矢吹 剣一 氏

### (5) 実施内容・実施結果

#### ① 1日目

市庁舎周辺エリアに関する情報提供や神戸市役所本庁舎2号館再整備基本計画(案)の紹介、現地調査等を行ったのちに、5つのグループに分かれてグループワークや中間発表を行い、検討状況の確認や今後の検討の方向性について指導がなされた。

#### ② 2日目

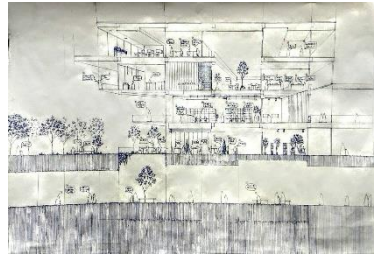
引き続きグループワークが行われ、午後の発表に向けて各グループにより成果物の作成が進められた。成果発表では、チューターによる審査の結果、A班「混じり溶け合う人々」、B班「第三の view (3rd view)」の2作品が優秀作品に選定された。



## 【参考】各グループによる提案の概要

### (1) A班 「混じり溶け合う人々」

対象敷地が結節点となり、神戸の各エリアから集まる「人」のコミュニティを再編するため、神戸の各エリアに存在する仮想人物に沿ったシナリオを作成。そのシナリオをもとに、神戸の各エリアの人が混じりあうために必要となる低層部の空間を提案。



### (2) B班 「3rd view」

神戸を代表する海や山の風景に並ぶ「第三の view (3rd view)」を創出するというコンセプトで、人々が集える公共空間を作り出した作品。新しく神戸が生まれ変わるために「3rd view」を人の動き、群衆の集まりの中に生み出していくことが必要であるという示唆を見出した提案。



### (3) C班 「溜まり『場』と溜まり『事』」

パブリックスペースにおいて、人や物が溜まる「溜まり場」を設けることで、そこで起きる現象（「溜まり事」）をデザインした作品。歩行者空間において、歩きやすくするだけでは面白くないという新しい視点からデザインされた「溜まり場」によって、ヒューマンアクティビティを創出していく提案。



### (4) D班 「庁舎 in the park」

市庁舎がもともと生田川の土手の上にあったことや東遊園地の一部であったことを踏まえて、東遊園地の中に庁舎が建つような形で作り替えた作品。東遊園地のリサーチを丁寧に行い、東遊園地の要素を再構成して、新施設の利用者が憩える屋外空間を提案。



### (5) E班 「ながれ」

「人の流れ」をテーマとして、三宮駅前から神戸市役所、ウォーターフロントまでを安全に繋ぐペDESTリアンデッキをつくり、立体的な回遊をすることで人々のにぎわいを創出する作品。緩やかに流れるような造形にすることで、人々が歩いてワクワクするような空間を提案。

